

事務事業No.	17-	17
事業名	文化施設整備費	
会計	款	項
一般	10	5
課名	社会教育課	
係名	生涯学習係	

政策	6 人生を豊かにするために
施策	6-1 生涯学習の推進

1 事務事業の目的・内容

事業目的	対象	利用者	目的 (対象がどのような状態になっているか)	文化振興の拠点となる施設の整備・充実を図る
事業内容	施設の老朽化により、軽微な修繕では対応が難しいものがあり、利用状況及び財政等も合わせ改修を検討する必要がある。また、効率的かつ計画的に改修工事等を検討する必要がある。			

2 事務事業の実績・現状及び成果を表す指標の動きとコストの状況

指標	指標名		令和3年度	令和4年度	令和5年度	単位	目標方向	令和7年度 (目標)	
	1	事業の性質上、指標設定は馴染みません。							
2									
3									
4									
5									
			令和2年度 (決算)		令和3年度 (決算)	令和4年度 (予算)			
全体事業費 (千円) A+B			45,826		36,465	46,458			
財源 内訳	直接事業費 A		45,562		36,201	45,996			
	うち一般財源		17,562		36,201	11,596			
人件費 (千円) B			264		264	462			
内訳	一般職員 (人・千円)		0.04	264	0.04	264	0.07	462	
	臨時職員 (人・千円)		0	0	0	0	0	0	

3 事務事業の評価、今後の方向性及び業務改善<※主管課長記入>

(1) 事務事業についての評価及び今後の方向性

個別評価	必要性	今後の必要性	B 必要性は変わらない	有効性	目標達成度	A 達成できた
		町関与の必要性	A 町が担うべき	効率性	対象者の適切性	A 対象者は適切である
					コストの削減	A 削減の余地はない
総合評価	II 継続 (事業内容の現状が最良でこのまま継続すべき)					

(2) 事務事業の業務改善について

①R3年度の改善計画	長期保全計画等に基づき、計画的に改修を行い、施設利用者が安全安心に利用できるような適切な施設の維持管理に努める。	③取組の課題	施設の老朽化の状況によって、長期保全計画の見直しを適宜行う必要があるが、改修等内容によっては財源確保が困難となるケースが想定される。
②R3年度に実施した取り組み	総合文化センターに係る非常用発電機更新工事及び空調設備盤改修工事を行った。	④今後の改善計画	施設設備に係る保守点検により、劣化等改修時期を見極め、長期保全計画に基づき計画的に改修工事を行い、施設の適正な維持管理に努める。